

胸腔内、頸部における漏れない、狭窄しない吻合法（肺、食道、遊離空腸、等）

胸腔内における吻合は、胸腔内の解剖学的な制限のため器械吻合によることが多くなってきている。さらに、その吻合部が縫合不全を起こすと致命的になり、また術後狭窄が起こってもその治療に難渋することが多く、漏れない、狭窄しない吻合を求めて各施設で様々な工夫がなされている。本シンポジウムでは、各施設において施行されている吻合法を供覧していただき、創傷治癒を考慮した理想的吻合法とはどのような吻合なのか議論を深めて頂きたい。